

教育委員会議事録

令和3年5月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和3年5月定例会)

- 1 日 付 令和3年5月24日(月)
- 2 場 所 えびなこどもセンター201会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 平井 照江
教育委員 海野 恵子 教育委員 酒井 道子
教育委員 濱田 望
- 4 出席職員 教育部長 伊藤 修 教育部次長 澤田 英之
教育部参事兼教育総務課長 中込 紀美子 就学支援課長兼指導主事 小林 丈記
教育部参事兼教育支援課長兼指導主事 坂野 千幸 教育支援課教育支援担当課長兼指導主事 浅井 大輔
学び支援課長 山田 敦司 教育総務課文化財担当課長 押方 みはる
教育支援課指導係長 土屋 葉子
- 5 書 記 教育総務課課長補佐兼総務係長 栗本 欣幸 教育総務課主事 湊 大輝
- 6 開会時刻 午後2時00分
- 7 付議事件
日程第1 報告第14号 令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について
日程第2 議案第19号 令和3年度海老名市奨学生選考委員会への諮問について
日程第3 議案第20号 令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について
日程第4 議案第21号 令和3年度海老名市一般会計補正予算(第3号)のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について
- 8 閉会時刻 午後3時37分

○伊藤教育長 本日の出席委員は全員でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会5月定例会を開会いたします。

本日は傍聴希望者がございます。傍聴者につきましては、教育委員会会議規則第19条に規定されておりますので、傍聴を許可したいと思います、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、傍聴を許可します。傍聴人を入室させていただきます。

今会の署名委員は、海野委員、酒井委員にそれぞれよろしくお願いいたします。

○伊藤教育長 それでは初めに、**教育長報告**をいたします。

主な事業報告でございます。

4月23日(金)は、教育委員会4月定例会がございました。

25日(日)は、学校給食説明会を行ったところでございます。

26日(月)は、用務員連絡会議、あそびっ子パートナー会議(柏ヶ谷小学校)に出席してまいりました。

27日(火)は、有馬図書館廃棄図書運搬作業、最高経営会議、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が行われたところでございます。学校で教育相談コーディネーター担当者会議が行われました。

28日(水)は、おはなしたまてばこ総会、市長定例記者会見、県・市町村教育委員会教育長会議がリモートで行われたところでございます。

30日(金)は、今泉小学校長市長面会ということで、増築に関する今泉小学校のこれからの様々な予定について市長に要望等をいたしたところでございます。教育部市制施行50周年事業打合せということで、まだまだ、現状を考えるとどうなるか分からないのですが、市制施行記念日が11月1日ということで、私としては既に、小中学生は、その日はお祝いのお休みということで計画していきまして、教育部長以下事務局職員に、子どもたちが一日を楽しめるような企画をしてほしいということで、一生懸命考えています。例えば、学び支援課は南部でウォークラリーを計画していきまして、とにかく様々な企画を用意して、子どもたちも含めて、全員で市制施行の記念行事を祝いたいと考えているところでございます。

続いて、5月に入りまして、1日(土)は、皆さんにも出席いただいて、有馬図書館・

門沢橋コミュニティセンターオープニングセレモニーを実施したところでございます。

6日（木）は、新型コロナウイルス感染症対策本部会議がございました。また、えびな支援学校人的交流打合せということで、県内の支援学校は3つございまして、支援学校の先生が各市町村の学校に派遣されるということで、海老名市への派遣について県から打診があり、今泉小学校に県立えびな支援学校の教員が派遣されるということで、今後、3年間ぐらいの計画で進める予定でございます。そのための打合せをしたところでございます。

7日（金）は、えびなっ子しあわせプランの推進委員会が行われました。

8日（土）は、市PTA定期総会（書面会議）、その後、単P会長会を行ったところでございます。

10日（月）は、5月校長会議がございました。反射板付きチャーム寄贈式ということで、小学校1年生と特別支援学級の子に、ランドセルにぶら下げたりして使えるお守りのようなものをご寄附いただいたところでございます。

11日（火）は、南部大型備蓄倉庫の視察に行ったところでございます。というのは、今度、今泉小学校を増築するに当たって、市長から、倉庫が校庭に幾つかあるので、1つ大きいものを新設したらどうだという話があったのです。そうすると、2階建てぐらいのものが必要だったりするのです。大型防災備蓄倉庫はそういうつくりになっていまして、例えば南部大型防災備蓄倉庫は、教育部長、3階までありましたよね。

○教育部長 はい。

○伊藤教育長 リフトで物品を上げたりなんかするのです。そういう理由で、学校の倉庫を少し集約したほうが良いかなということで、そのために視察に行きました。現在、今泉小学校で、新たにそのような形で学校倉庫を建設したいと考えているところでございます。同じ日に、健康教育担当者会（リモート）がありました。

続いて、裏面になります。12日（水）は、週部会ということで、部内の打合せでございます。PTA通学路要望説明会がありました。

13日（木）は、5月教頭会議がございました。関東地区都市教育長協議会理事会（リモート）ということで、実はこの日は宇都宮市で関東地区都市教育長協議会が予定されておりました。総会は書面会議になりましたが、理事会はリモートで開催されるため、そちらに出席したところでございます。予定どおりいけば来週我々は関東甲信越静教育委員会連合会総会に出席する予定でしたが、実際はそれも中止となりました。

14日（金）は、臨時最高経営会議がございました。新型コロナウイルス感染症対策本部会議がございました。えびなロータリークラブクリアファイル寄贈式は、読売新聞等でも取り上げていただいたのですが、えびなロータリークラブで新型コロナウイルス感染症に関わる情報を載せたクリアファイルをつくっていただいて、大谷小学校の子どもたちへ寄贈をいただいたところがございます。続いて、キャリア教育担当者会議がございました。

17日（月）は、あそびっ子パートナー会議（今泉小学校）に伺いました。教育課題研究会で皆さんに来ていただいたところがございます。

18日（火）は、最高経営会議がございました。

19日（水）は、教育支援センター運営協議会（書面開催）、ミドルリーダー育成研修会（リモート）がございました。

20日（木）は、あそびっ子パートナー会議（上星小学校）に出席しました。情報セキュリティ研修会（リモート）がございました。

21日（金）は、食育担当者会議（リモート）がございました。私はもう普通にリモートで会議をすることが多くなったので、全然抵抗感がなくて、みんなの顔が見えて、逆にとても面白いなと思っているところがございます。支障はそれほどないかなと思っています。新型コロナウイルス感染症対策本部会議がございました。

24日（月）は、本日ですが、午前中に不登校支援団体面会がございました。そして午後、教育委員会5月定例会でございます。

皆さんから、主な事業報告について何かありましたらお願いいたします。

○**海野委員** 28日の県・市町村教育委員会教育長会議（リモート）なのですが、今は市によって子どもたちへの新型コロナウイルス感染症対策等が違いますが、そういう課題などは出ましたか。

○**伊藤教育長** それはあまり出なかったのですが、県の主催だったので、県教育委員会は高校を対象に新型コロナウイルス感染症対策の指針を示しまして、市町村教育委員会についてはそれに準拠して対策を行ってくださいということで、各市そんなに変わりなく行われているかなと思っているところがございます。

ただ、やはり各市町村教育委員会、神奈川県以外の他の関東甲信越の県もそうなのですが、リモート授業、リモート学習の実施状況等については、2回とも非常に話題になっています。酒井委員から情報をいただいたのですが、神奈川県は県立高校に対して、リモートを実施しようということで、実験的にまずやってみるという形で進めているそうです。た

だ、授業というよりは、双方向のやり取りがしっかりと伝わるかどうか、そのチェックを今進めているところでございます。この辺の関東一円ですと、高崎市の教育長だけが、これまでもやってきたからやれると言うのですが、ほかの市町村の方々、県の方々は、タブレット端末の配置イコールリモート学習ではない、それは少し難しいという考え方でした。もちろんそのことによって、例えば連絡をしたり、課題設定をしたり、また、動画を配信することは可能なのですが、授業として1対1のやり取りをするのは、教職員のほうも議論が必要だし、受ける子どもたちのほうにも慣れが必要だろうということで、すぐには実現できないというような話をしました。

教育長さん方は私も含めて高齢の方が多いので、話を詰めていくと、ICTの配置によって教育の本質が失われてはいけないとか、そういう議論になってくるのです。でも、それはそうですが、だからといってやめるというわけにはいかないでしょうという結論に最後はなるのです。

県のほうからは、実は神奈川県は不祥事の事案自体は少なくなっているのですが、わいせつ事案は増えているし、例えば管理職の方々がそういうことを起こしたりするような厳しい事案があったので、それについて、有識者会議等を開いて、ここで確実な防止のため取組を始めるということで話がありました。要するに、わいせつ事案の不祥事への対策について、神奈川県では徹底して行うことを強調したところでございます。

○酒井委員 5月8日の市PTA定期総会（書面会議）なのですが、コロナ禍ということもあって、活動がいろいろ難しい場面もあるのかなと思うのですが、どのようなお話があったか教えていただきたいと思います。

○伊藤教育長 市PTA定期総会自体は、予算の承認や、教育委員会もそれに対して補助金等を出していますので、予算の執行状況や事業についての承認をいただいたということでございます。また、昨年度もそうなのですが、PTAの会長さん方は今この状況でもやれること、今までPTAでやっていたことの前例踏襲でいくのではなく、それに代わるものを実施するか、または無しにしていこうかというような議論をしています。私からは、PTA会長会の趣旨に則って、学校の先生方と保護者が協力して、子どもたちが何を望んでいるか、しっかりと耳を傾けて、自分たちでやれることをやるという原点にもう1回戻って事業を進めたほうが良いのではないですかという提案をしているところでございます。

そういう中で、去年は、PTAの中の様々な組織を簡略化するなど、工夫改善が見られ

ているところでございます。

○濱田委員 3点お聞きします。

4月30日の今泉小学校長市長面会の増築の要望というのは、どのような要望が出てきたのかということが1点。

2点目は、5月1日の有馬図書館・門沢橋コミュニティセンターオープニングセレモニーですが、オープンして20日ぐらい経っていますが、現在の利用状況を教えてください。

最後に、PTA通学路要望説明会というのはどのような内容なのか、教えてください。

○伊藤教育長 今泉小学校長市長面会は、今泉小学校の中に増築棟ができるのですが、体育館が横にあって、県立産業技術総合研究所のほうの体育館側に入り口がついているのです。校舎、渡り廊下に囲まれるエリアがありまして、そこは給食の配膳車が入ったりするような場所になります。そこが今、車が入ろうとすると地面がでこぼこの状態なので、この先を考えると、そこは全面舗装というか、簡易舗装でもいいから、きれいに舗装したほうが良いだろうということで。避難所になったり、市民の方も新增築棟ではオープンエリアを使用することも想定していますので、雨が降ったりすることを考えると、全面を舗装したほうが良いのではないかとということで、当初は配膳車が通る場所ぐらいを舗装しようとしていたのですが、全面的に舗装することについて今泉小学校長から要望があって、市長は検討しますということで前に進んでいるところでございます。

続いて、2点目ですが、学び支援課長からお願いします。

○学び支援課長 では、来館状況をお伝えします。来館状況につきましては5月1日から10日間の集計を取らせていただきました。来館者数は6,626名、貸出冊数は4,335冊。昨年が休館でしたので、一昨年比という形で2019年と比較しますと68パーセント増になってございます。貸出人数は1,156名ということで、こちらも2019年比で89.1パーセント増でございます。期間中に行いました主なイベントとしましては、スタンプラリー、キッズテントの前で読み聞かせをしながらのバイオリン演奏、また、図書館での閲覧に堪えられないような状態の本、雑誌などを市民の方にお譲りする趣旨でリサイクル市を行いました。スタンプラリーでは景品等も準備していたのですが、連休中に無くなってしまふなど、3件とも非常に好評だったということです。

来館者のご意見もいただきまして、全体的に白を基調としたことで明るくなったというご意見が多く寄せられました。また、テラス席が非常に気持ち良いということ、集会室が今まで畳だったのですが、椅子になって、とても使いやすくなったということ、今までも

車椅子の方への配慮はされていたのですが、さらにストレスなく利用できるようになったという声もいただきました。そして、図書館だけではなく、コミュニティセンターについても共通して使いやすくなったというご意見をいただいております。

○濱田委員 駐車場の充足率はいかがですか。満車になったりはしていませんか。

○学び支援課長 満車まではいっておりませんが、今回駐車台数を増台した効果があったと感じております。

○濱田委員 分かりました。お疲れさまでした。

○伊藤教育長 貸出冊数も増えているということで、来館者数はその前は計測していないのですよね。

○学び支援課長 有馬図書館とコミュニティセンターで別運営だったことから、比較できる数字がなく、来館者数についての前年度比は算出できておりません。

○伊藤教育長 でも、冊数などが増えているということは、少なくとも1.5倍ぐらいは来館者が増えているのだらうと思っているところでございます。

○就学支援課長 P T A通学路要望説明会と書いてありますが、どういうことかというところ、学校もしくはP T Aがその地区の通学路に関して、子どもたちの防犯上の観点から、危険箇所等を通学路改善要望として上げていただくための説明会を兼ねております。上がってきた改善要望はどのようになるかということ、道路の所管課や就学支援課、県の厚木土木事務所など、関係機関が集まって、今度は通学路の改善について検討します。検討するに当たって、合同点検という形で所管課がその場所に行くこともございます。一連の交通安全プログラムの中での取組のスタートの部分なので、P T A役員等、当該役員に説明をさせていただくものです。

○濱田委員 駅の周りは環境が大きく変わってきているので、通学路といっても、単純に市道だけでない、県道だけでないところも中にはあるのではないかと思います。関係機関との連携をよくして、子どもたちの安全な通学のためにぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

○平井委員 6日にえびな支援学校人的交流打合せと入っていたのですが、学校配慮というところで、学校としては本当にありがたいことかと思うのです。その中で、どのような位置づけになっていくのか。特別支援学級を担当していただけるとか、学科内ではどのような形の交流になっていくのですか。

○伊藤教育長 今年度は学校へ派遣という形で進めて、今後この事業をどう進めるかを考

えていきます。また、学校内での、どちらかというコーディネーターとして、子どもたちの支援についてコーディネートするような形です。次年度からは、今泉小学校の特別支援学級の職員として配置されます。その動きを、今泉小学校から市内19校に情報を提供して、広げていきます。県はインクルーシブ教育という考え方の中で、県立えびな支援学校はもちろんなのですが、やはり地域の中である程度支援が完結できる、自分の地域の学校で完結できるようなシステムを構築したいと考えているようです。

支援の必要な子は年々増えていますので、それに各市町村の学校の特別支援学級でどのように対応するか。やはり拠点として、中心になるのは県立えびな支援学校です。海老名だけではなくて、いろいろな支援学校がありますが、それに対してどのようなサポートをするのが良いのか、研究していきたいところでございます。

○平井委員 とても良い取組なので、今後さらに充実していただけたら良いなと思います。

○伊藤教育長 初めての試みなので、楽しみなのもあり、それによって特別支援学級が改善できることが一番ありがたいなと私は思っているところでございます。

ほかにはいかがでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 続いて、2番目です。

文部科学省は、新学習指導要領を出したばかりですが、この1月に、「令和の日本型学校教育」というのを打ち出してきました。その中では、ここに書いたように、総論的には学習指導要領そのものと変わらないのですが、新学習指導要領の着実な実施やICTの活用などにより、狙いとしては「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」と書いてあるのです。これは当然ですね。

その中で、具体としてはどういうことかということ、その下、そのための、2020年代、要するに令和の時代を通じて、ということで、1つの柱としては「個別最適な学び」ということです。もう1つは「協働的な学び」ということです。この「個別最適な学び」と「協働的な学び」を両立して、子どもたちが学校教育の中で学習を進めるということです。これが「令和の日本型学校教育」です。上に戻って「個別最適な学び」というのは「一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める」。要する

に、指導の個別化は今までもやってきたのですが、それをさらに広げて、学習者の視点から、何がその子に一番合っているかを見つけて、そういう学習を進めるということです。

ただ、それだけだとあまりにも個別的なので、もう1つの柱として、「協働的な学び」、多様な子どもたちがみんな話し合っ、物事を1つ作り上げていくという学びの両立が必要だと書いてあるところがございます。

裏面を見ると、様々な子どもの学びの段階では、教職員の姿としてはこのようなものを目指すというので、いくつか記載しているのが、令和の日本型学校教育ということです。その中では、やはりGIGAスクール構想の実現が強調されています。昨年度1年間で補正予算をつけて一気に進んだものですから、それを補完する考え方の柱がなかったので、それが示されています。一番下のところがございます。「『個別最適な学び』『協働的な学び』などの新しいワードが示されたところですが、これまで培われてきた日本の学校教育の成果を継続することを前提に、新たな取組を積極的に導入してさらに発展させることが、『令和の日本型学校教育』の実現につながるとされています」ということでございます。

ただ、5ページなのですが、私としては、第3期えびなっ子しあわせプランで、多様性をキーワードに私どもで学校の先生方と協議しながら進めているのですが、それがほとんど「令和の日本型学校教育」の形に合致しているので、海老名市の教育を、自信を持って皆さんとともに進めたいと考えているというまとめでございます。

「蛇足ですが、私たち5人も、めざすべき令和の教育委員会として、ひとりひとりを尊重し、『協働的な学びを』を実践したいものです」。協働的な取組の教育委員会としてよろしく申し上げますということでございます。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 またみなさんと時間を使って話し合っ、教育委員会を進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○伊藤教育長 それでは、報告事項に入ります。

日程第1、報告第14号、令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料1ページをお開きください。報告第14号、令和3年度海老名

市教育委員会非常勤特別職の委嘱についてでございます。本件につきまして、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し委嘱したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

報告理由としましては、任期満了及び辞職に伴い、新たに非常勤特別職の委嘱を行ったためでございます。

それでは、資料3ページ以降で詳細をご説明させていただきます。

まず、資料3ページ、令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職（海老名市教育支援センター運営協議会委員）の委嘱についてでございます。本委員につきましては、海老名市教育支援センターの事業を適正かつ円滑に進めるために設置するものでございます。

委嘱期間は令和3年4月1日から令和5年3月31日まででございます。

資料をおめくりいただきまして、資料5ページをご覧ください。資料5ページは令和3年度海老名市教育支援センター運営協議会委嘱対象者名簿でございます。任期は2年ございます。こちらに記載の11名に対しまして委嘱したところでございますが、新規に委嘱したのが表の2番、遠藤誠有馬高等学校長、続きまして、7番、小森和光厚木児童相談所子ども支援第2課長、8番、山田志保子育て支援課長でございます。

1番、村木真也海老名警察署生活安全課長、3番、大島直子海老名中学校長、4番、山川勇杉久保小学校長、5番、熊切豊保護司会代表、6番、榮芳朗民生委員児童委員代表、9番、中江陽一郎海老名市医師会、10番、山田佳子わかば学園長、11番、芳川玲子東海大学教授につきましては、引き続きこちらの運営協議会委員を務めていただく予定となっております。

また、備考欄をご覧くださいと、継続となっているただいま申し上げました委員の当初の委嘱日を括弧書きにて記載させていただいているところでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。7ページは、令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職（海老名市いじめ問題対策連絡協議会委員）の委嘱についてございまして、本委員につきましては、いじめの防止等に関係する組織及び団体の連携を図ることを目的として設置するものでございます。

委嘱期間は令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間となります。

9ページをご覧ください。9ページが海老名市いじめ問題対策連絡協議会委員委嘱対象者名簿でございます。今回新たに委嘱をする方につきましては、2番の飛矢崎義基中学校長代表、3番、遠藤一義小学校長代表、4番、城田美弥子厚木児童相談所の3名でござい

ます。

1番、村木真也海老名警察署生活安全課長、5番、池亀隆海老名市人権擁護委員、6番、小林正稔学識経験者（しらかばこども支援ステーション）につきましては継続で委嘱をしたところでございます。

なお、継続で委嘱となる3名につきましては、括弧書きで当初の委嘱日を記載させていただいているところでございます。

続きまして、資料11ページから令和3年度海老名市教育委員会非常勤特別職（学校運営協議会委員）の委嘱についてでございます。学校運営協議会委員につきましては、学校運営への必要な支援及び協力を行うというものでございます。

委嘱期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日まででございます。前任者の残任期間の委嘱となります。

なお、1名は、令和3年4月8日付で委嘱したものでございます。

13ページから各学校の学校運営協議会委員名簿でございます。名簿に網かけ、着色している方につきましては今回新たに委嘱を行うものでございます。

まず、13ページが海老名小学校学校運営協議会委員で、4番、森貞匡史さんは保護者代表、7番、谷向翔さんは学校運営に資する活動を行う者、8番、奥泉憲校長、この3名を新たに委嘱したものでございます。

14ページ、柏ヶ谷小学校は、17番、奥田五成教務担当、19番、麻生仁校長が新規での委嘱でございます。

15ページ、有鹿小学校は、6番、田中由美野さんは地域住民です。また、10番、境景子教頭、この2名を新たに委嘱したものでございます。

16ページ、7番、和田波代教頭、8番、五十嵐光教務担当が新規での委嘱でございます。

17ページ、門沢橋小学校は、1番、鈴木隆政さんは地域住民、6番、佐野健二さんは保護者、9番、神部佐代子さんは学校運営に資する活動を行う者、10番、長谷堯さんも同様でございます。12番、潮田佑介教頭、この5名を新たに委嘱したものでございます。

18ページ、社家小学校は、11番の清水賢治さん、12番、村尾朗さんは両名とも学校運営に資する活動を行う者で、新規委嘱でございます。15番、梅崎玲子校長、17番、岩瀬一哲教務担当、18番、森達也教諭につきましても新規での委嘱でございます。

19ページ、杉久保小学校は、4番、鈴木剛さん、保護者代表ですが、こちらの方は新規

の委嘱でございまして、委嘱日は令和3年4月8日となっているところでございます。

20ページ、今泉小学校は、5番、和泉雅幸さんが学識経験者、6番、和田修二校長、7番、住田晶子教頭、8番、村川静保教務担当、以上4名が新規の委嘱となります。

21ページ、杉本小学校は、9番、小川百合子校長が新規の委嘱でございます。

22ページ、海老名中学校は、9番、小坂浩久教頭が新規での委嘱でございます。

23ページ、有馬中学校は、12番、久保谷由美子教頭が新規の委嘱でございます。

24ページ、海西中学校は、6番、別府裕二教頭が新規の委嘱です。

25ページ、大谷中学校は、8番、村松かおり校長、9番、竹島和也教頭が新規での委嘱でございます。

26ページ、今泉中学校は、13番、木村信一郎教頭が新規での委嘱でございます。

説明につきましては以上でございます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対して、ご質問等ございましたらお願いいたします。

○濱田委員 9ページのいじめ問題対策協議会委員の4番の方なのですが、ほかの組織から出されている方は役職がついているのですが、この4番の方だけ役職名がついていないが、お分かりになりますか。

○教育支援担当課長 後ほど報告させていただきたいと思います。

○酒井委員 それぞれ委嘱する会議は年に大体何回ぐらい開催されているのか、教えていただけますか。

○教育支援担当課長 教育支援センター運営協議会は年2回、5月と2月に行っております。2つ目のいじめ問題対策連絡協議会は年3回行っております。5月と10月と1月末か、あるいは2月の頭の予定となっております。

○教育支援課長 学校運営協議会は、昨年度はコロナで大分少なくて、1回しか行っていないところが9校でした。2回のところが5校、3回のところが2校、4回のところが1校です。通常であれば、大体年3回から4回、一番多いところで、東柏ヶ谷小学校では7回行われておりました。

○酒井委員 教育支援センターとかは結構相談件数が増えたり、人の配置が変わったりとかしているのでもう少し現状を見ながら会議してもらおうと良いのかなと思ったのですが、年2回で十分な感じですか。

○教育支援担当課長 例年2回ほど行う趣旨としては、年度頭に運営方針や、構成メンバ

一の紹介等をしつつ、本年度はこういう形で進めていきますというお話をしているところでございます。また、年度末の会議では、年度中の活動や行事について私どものほうからお話しさせていただいて、またご意見いただくような形ですので、年間2回の開催で今のところ十分と考えておりますが、今後やっていく中で回数を増やしていく必要が出てきた場合には、随時開催していきたいと思っております。

○酒井委員 昨年、相談員の方を増やして、学校に行く回数を多くするなど、いろいろ変更があったではないですか。そういうことはこの会議では諮らないのですか。

○伊藤教育長 このように変更しました、と報告をして意見をいただくのですが、この会議で何かを決定するということはないですね。

○酒井委員 分かりました。

○伊藤教育長 年度初めに説明して、年度末に今年度はこうなりました、来年度はこうしますという報告をする形で進めているような感じですね。そこで課題について深く議論するような感じではないですね。

○酒井委員 分かりました。ありがとうございます。

○伊藤教育長 学校運営協議会委員は何校分委嘱が終わりましたか。

○教育支援課長 14校です。

○伊藤教育長 分かりました。今後、残りの5校についても報告があるということで、ほかにはいかがでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ほかにご質問等はないようですので、報告第14号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第14号を承認いたします。

.....

○伊藤教育長 続きまして、審議事項に入りますが、日程第2、議案第19号は個人情報に係る案件、日程第3、議案第20号は人事に関する案件、日程第4、議案第21号は令和3年第2回海老名市議会定例会に上程する予定の案件でございます。これらの案件は、海老名市教育委員会会議規則第18条第1項第1号、第3号、第4号にそれぞれ該当することから、会議を非公開としたいと思います。

それでは、会議の非公開について採決を行います。日程第2から日程第4まで、会議を非公開とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第2から日程第4までを非公開といたします。

(非公開事件開始)

(非公開事件終了)

○伊藤教育長 教育部長から1点ご報告がございます。

○伊藤部長 先程、濱田委員からのご質問で9ページのいじめ問題対策連絡協議会委員の4番、厚木児童相談所の方の役職ということで、ご報告をさせていただきます。

○浅井担当課長 はい。先ほどはすぐお答えができず申し訳ございませんでした。城田美弥子委員さんなのですが、教育支援センター運営協議会委員でいらっしゃる小森課長と同じ、厚木児童相談所子ども支援第2課の児童福祉士さんで、役職といたしましては、スーパーバイザーでございます。相談事案のまとめ役の立場でいらっしゃる方でございます。以上です。

○伊藤教育長 はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○濱田委員 はい。

○伊藤教育長 それでは、以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたしましたので、教育委員会5月定例会を閉会いたします。みなさんお疲れ様でございました。